



**レッドゾーン (原則として立地不可とすべき地域)**

**イエローゾーン (慎重な立地検討を要するべき地域)**

**【附帯事項】**

- (1) 本評価図は、主に阿讃山脈近郊を中心とした評価となる。そのため、その他の市街地域については評価対象としていない。
- (2) "レッドゾーン"の距離に関しては、あくまで居住地等から離すために最低限必要な距離であり、立地に当たってはより一層の距離を設けていくことが望ましい。
- (3) 事業を予定するものは、その時の最新の騒音・シャドウフリッカーに関する知見と、居住施設などの利用状況を踏まえ、適切な検討を実施すること

**評価図  
(騒音・シャドウフリッカーリスク)**

・ 本評価図は、ESRI社のArc GISを活用し作成。背景図の出典元は下記を参照のこと  
 ・ 本評価図を参照するにあたっては、別紙「根拠資料(騒音・シャドウフリッカー)」の内容を必ず確認すること

Sources: Esri, HERE, DeLorme, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community